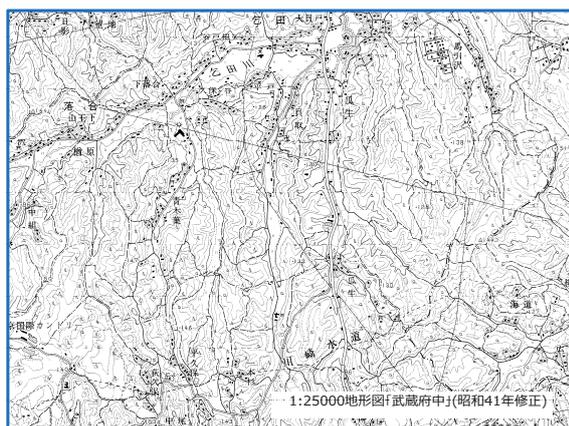
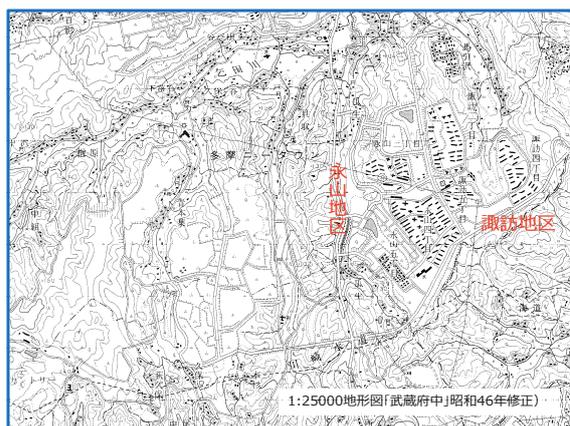


丘陵に生まれた新しい町 (多摩ニュータウン)

多摩ニュータウンは、稲城市・多摩市・八王子市・町田市に広がる標高100~180mの多摩丘陵に都内の住宅不足を補い、乱開発を防止して住みやすい土地供給のため計画・開発されました。



開発前は、所々に集落のある近郊の農村地域でした。



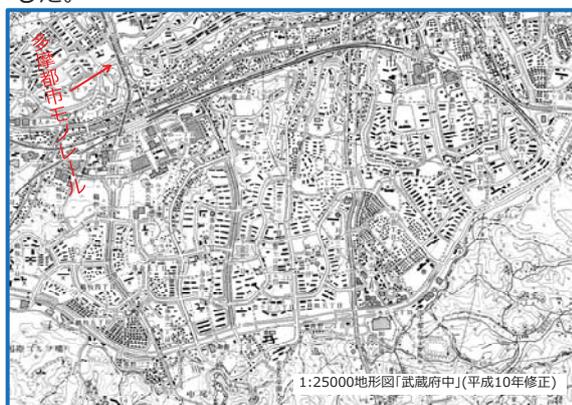
第1次開発の永山・諏訪地区に入居が始まりました。



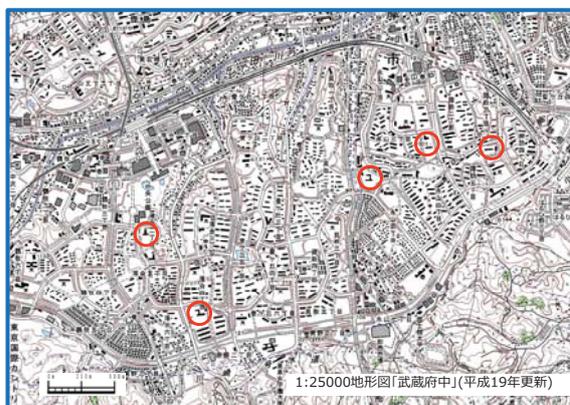
京王相模原線が1974(昭和49)年、小田急多摩線は1975(昭和50)年に「多摩センター」まで開業しました。



建設に併せて、大学の誘致も進められ国士舘大学はじめ各大学のキャンパスが建設されました。



多摩地域の南北を連絡する多摩都市モノレールが建設中でした。



第一次の入居から約40年を経て、住民の高齢化・人口減少など新たな問題が起き、小中学校の統廃合行われています。(○印は廃止された小中学校)